

# 財政構造改革の取組みについて

## 1. 長期的な取組み成果

- (1) 県債残高・公債費(一般会計)の推移
- (2) 県債残高水準の全国比較(普通会計・本県抑制対象分比較)
- (3) 実質公債費比率の推移
- (4) 財政調整的基金残高の推移
- (5) プライマリーバランス(一般会計)の推移

## 2. R4年度末目標の進捗と当初予算編成後の状況

# 1. 長期的な取組み成果

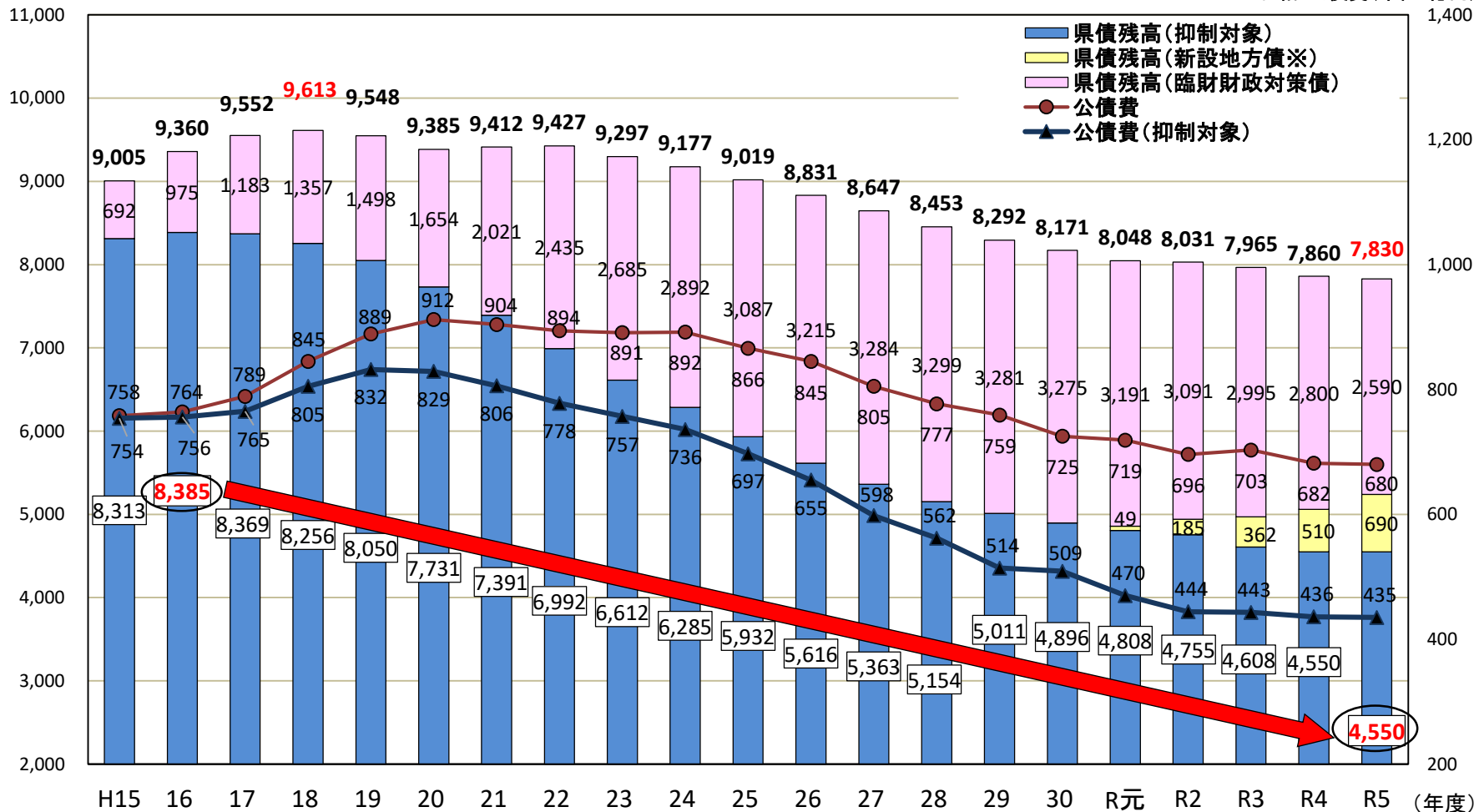
## (1) 県債残高・公債費(一般会計)の推移

○「抑制対象」の県債残高を「4,550億円」程度と、H16比で「54%」に削減！

○「すべての県債残高」でも「8,000億円」の大台を切る水準に減少！

左軸: 県債残高(単位: 億円)

右軸: 公債費(単位: 億円)



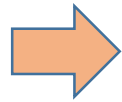
○R3までは決算、R4・R5は見込み

※新設地方債: 国の防災・減災対策に伴う交付税措置の有利な地方債  
・防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債 ・緊急自然災害防止対策事業債

## (2) 県債残高水準の全国比較(普通会計・本県抑制対象分比較)

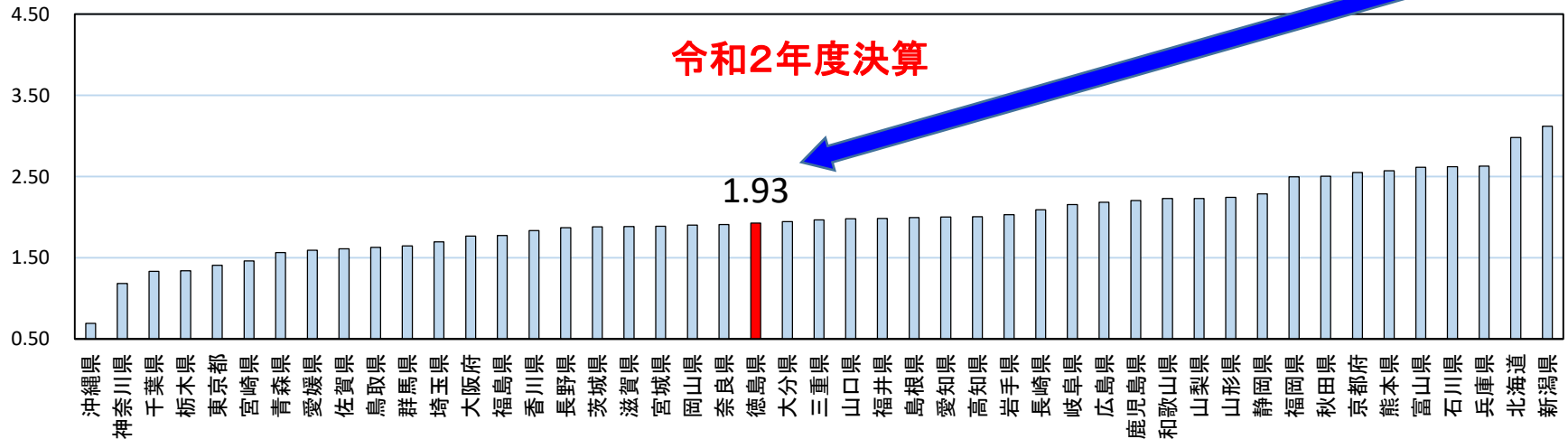
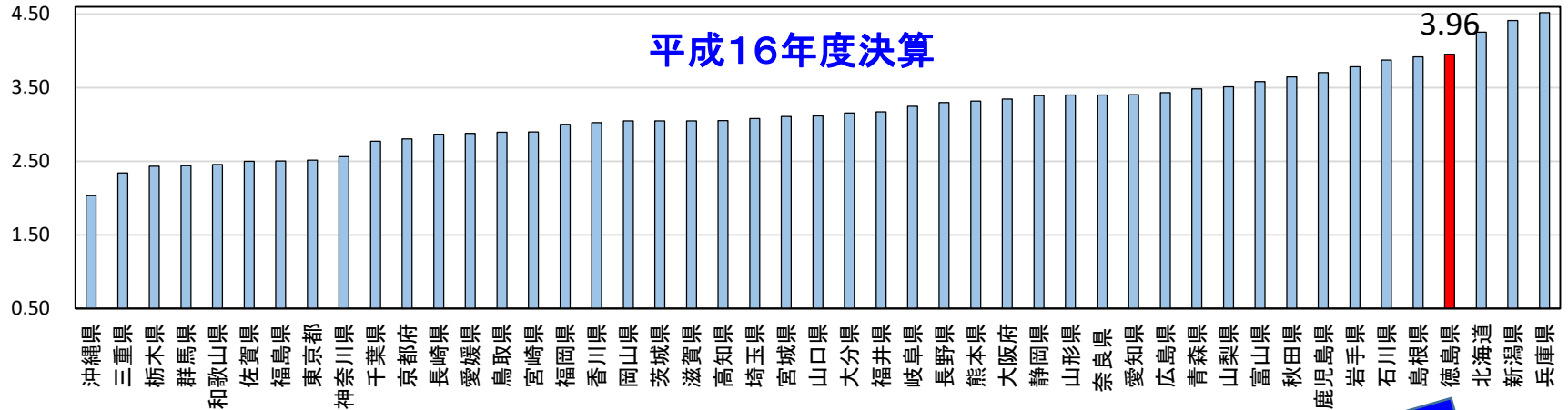
○自治体の標準財政規模(県税・地方交付税等の収入)に対する県債残高比率では、

**H16決算(ピーク)**  
**3.96倍:全国44位**



**R2決算※**  
**1.93倍:全国22位**

※全国数値が公表されている直近の決算残高を使用



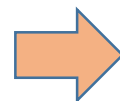
※県債残高は、臨財債及び国の防災・減災対策に係る交付税措置の有利な地方債を除く

### (3)実質公債費比率※の推移

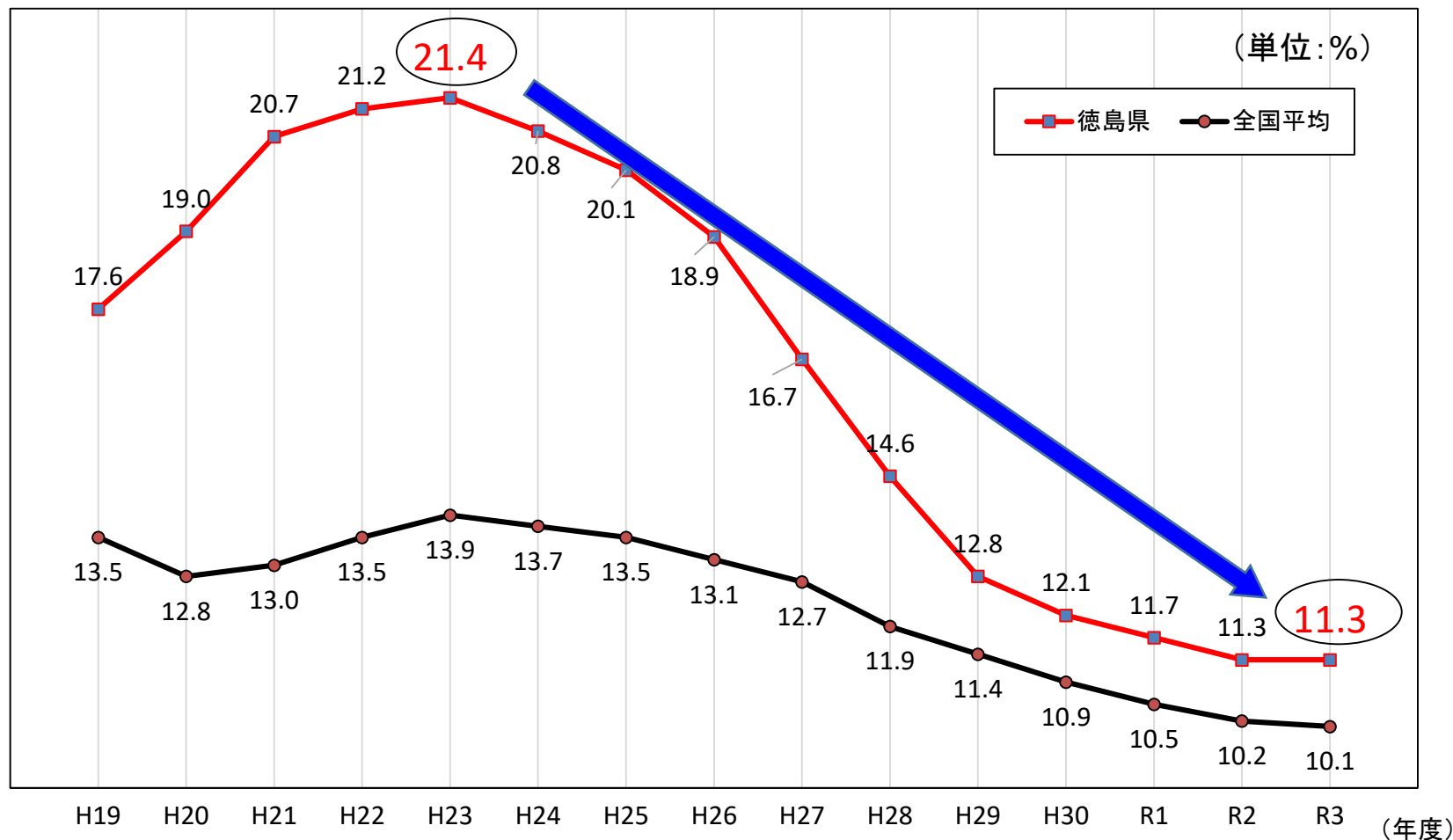
※県債償還の財政的な負担度を表す指標

○県債残高抑制により公債費の低減に努めてきた結果

H23決算(ピーク)  
21.4%(全国46位)



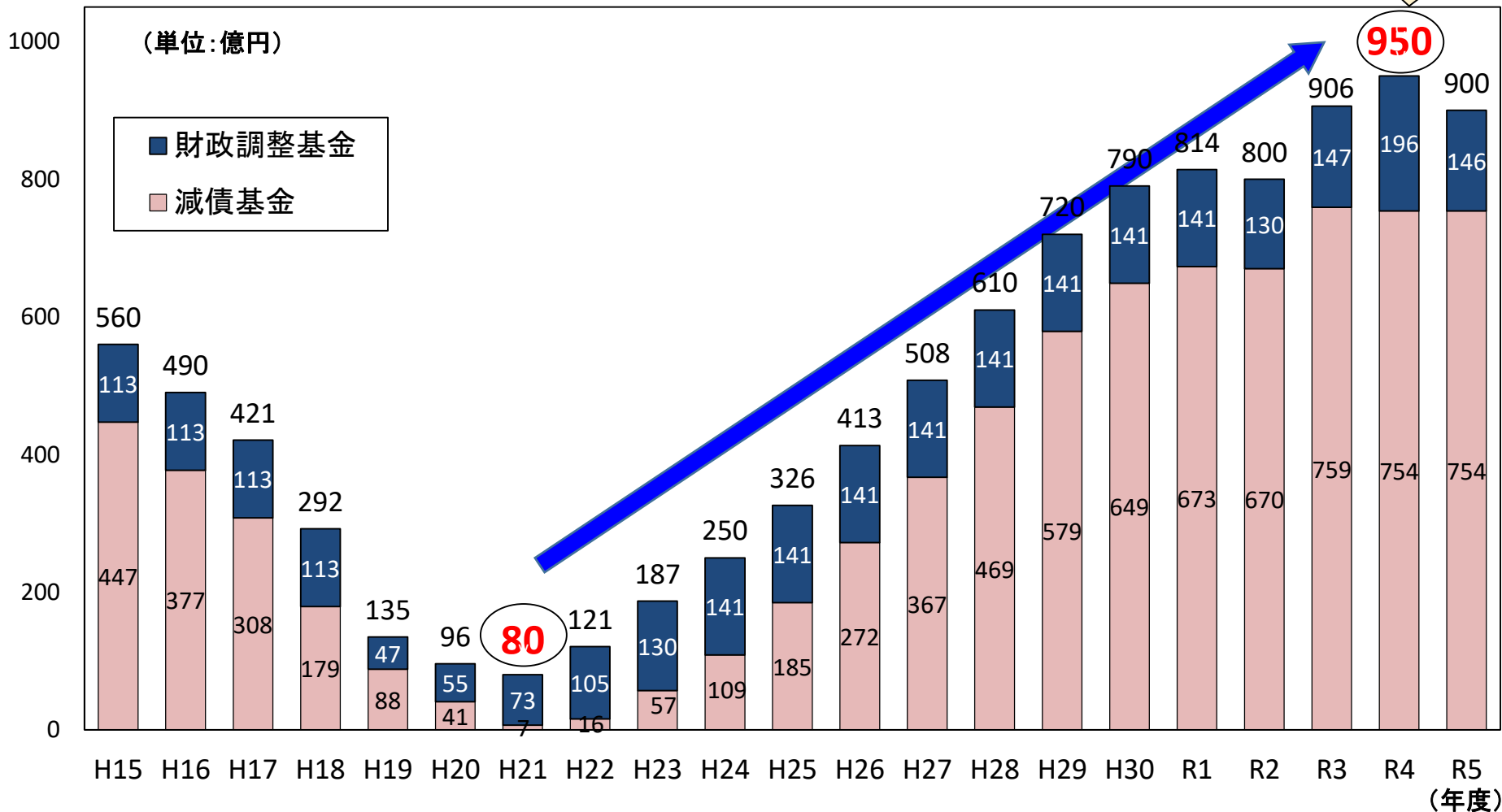
R3決算  
11.3%(全国29位)



# (4) 財政調整的基金残高の推移

○かつて「80億円」に減少していたものが「950億円」となり、  
将来に向けた「安定的な財政基盤」を強化！

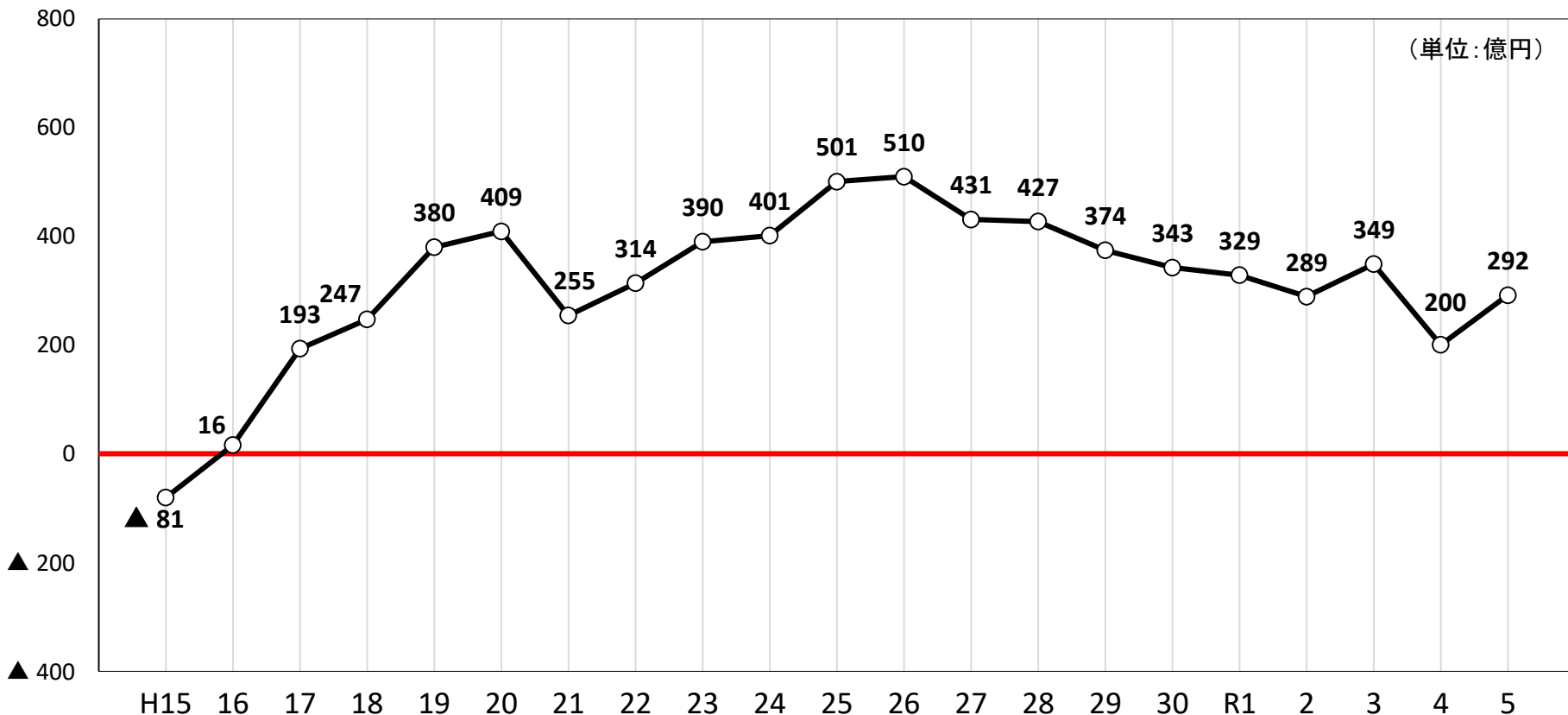
過去最大の積立額！



OR3までは決算、R4は見込み、R5は骨格予算編成後

## (5)プライマリーバランス※(一般会計)の推移

○国が何度も目標に掲げながらも黒字にできていないところ、本県では、  
知事就任後の本格予算編成のH16以降R3決算まで「18年連続」黒字達成！  
R4・R5当初(骨格)も黒字予算編成により、20年連続達成見込み！



※プライマリーバランス(基礎的財政収支)

県債発行による収入(借入金)を除く「歳入」と、

公債費(県債の利払いと償還費)を除く「歳出」との収支差を表し、

行政サービスを県債以外の収入(税金等)で、どれだけ賄えているかを示す指標

○R3までは決算、R4は見込み、R5は骨格予算での数値

## 2. R4年度末目標の進捗とR5当初予算編成後の状況

県債残高※

目標：R4年度末 4,800億円未満

R3末 4,608億円  
(決算)

→

R4末 4,550億円  
(見込み)

→

R5末 4,550億円  
(見込み)

すべての県債残高でも  
7,830億円程度に減少

公債費※

目標：R4年度末 440億円未満

R3 443億円  
(決算)

→

R4 436億円  
(見込み)

→

R5 435億円  
(R5当初予算額)

※公債費・県債残高は、臨財債及び国の3か年緊急対策・5か年加速化対策に係る交付税措置の有利な地方債分を除く

実質公債費比率

目標：R4年度まで12%台以下堅持

R3 11.3%  
(H30~R2決算の3か年平均)

→

R4 11.3%  
(R1~R3決算の3か年平均)

→

R5 12%台以下  
(見込み)

財政調整的基金残高

目標：R4年度まで800億円以上堅持

R3末 906億円  
(決算)

→

R4末 950億円  
(見込み)

→

R5末 900億円  
(当初予算編成後)

様々な危機事象や  
大規模プロジェクトへ  
万全の備えを確保

### ◆健全財政センサー指標の状況

指標①（財政悪化の早期検知）

単年度実質公債費比率 R3: 11.6%  
**低水準維持**

指標②（事後的検証）

プライマリーバランス（一般会計）  
**18年連続黒字達成（H16~R3決算）**

全目標達成見込みに加え、R5当初予算でも健全な財政運営を維持！